

鹿山会は、皆さまの会費を原資に運営されています。活動の充実に向け、会費納入にご理解とご協力をお願いいたします。

- (1) 2025 鹿山文庫講演会 受講者アンケート結果を報告します
 (2) 投稿 長嶋茂雄先輩 巨人軍(2軍) 追悼試合観戦記 長堀幸朗

2025.8.8 鹿山文庫講演会 受講者アンケート結果を報告します

鹿山文庫委員会

鹿山会会員の学びの場であり、また母校との地域貢献・共催事業である鹿山文庫講演会を開催いたしました。

講演会参加者の声を聞き、鹿山会活動を捉え直すための一助として、アンケート調査を継続して実施しています。集計結果を取り纏めましたので報告いたします。

2025 年度 鹿山文庫講演会

佐倉藩の知られざる海上砲術家・田辺重則
 ～幕府海軍と藩の狭間で～

○講師 水上 たかね氏 東京大学史料編纂所助教

オランダ・ライデン大学に客員研究員として約2年滞在、
 日本の幕末・維新史について研究

概要：佐倉高校が所蔵する「鹿山文庫」には、幕府海軍由来の蘭書が二点含まれる。これらを佐倉藩へと繋いだのが、藩士の三男として生まれた田辺十三郎重則(1835～67)である。彼は同藩の木村軍太郎に洋学を学び、幕府の軍艦操練所に入学すると、幕府海軍士官に登用された。海上砲術を専門とし、佐倉藩士の身分のまま幕府海軍で活躍したが、藩でも幕府でも正規構成員としての待遇を得られないまま、明治維新を目前に自害する。

*講演内容は、10月20日発行予定の鹿山会報第21号に掲載いたします。住所が確認されている卒業生に会報等を郵送いたします。また、鹿山会hpでも会報発行日前後にアップいたします。

○調査概要

調査日時：2025(令和7)年8月8日(金)14:00～16:10 (講演会開催日当日)

調査場所：地域交流施設研修室

参加者：81名(一般参加者63名、鹿山会役員、学校関係者等18名)

調査対象：63名

アンケート回答有効サンプル数：52票

有効回答率：82.5%(52/63)

調査方法：講演終了後、自席において受講者による自記式アンケート

*受付時に講演資料(レジュメ、展覧会案内等)とともに用紙を事前配付、講演終了後に指定回収箱により回収



講演会の様子

□集計結果留意事項等

*回答率約8割を超えることから、講演会の概要・評価等を概括的に捉えられるものと考え集計した。

○参加者が多く、机を搬出し椅子掛けでの聴講となったことから、アンケートの記入が難しかったものと考えられる。

○集計の%の数値は小数点第2位以下を四捨五入している。

○記述回答は、できる限り原文表記のまま掲載することとしたが、判読困難な個所がある場合には、前後の文脈から集計者が判断し掲載した。

.....
2025年度 鹿山文庫講演会 アンケート (集計結果) *有効回答数 : 52 票

*アンケートは以下の項目を記載してお願いした。

「今後の参考にさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。該当するものを○で囲んでください。」

1 どちらからいらっしゃいましたか?

①佐倉市内 : 41名 (79.0%) ②成田市 : 2名 (4.0%) ③八街市 : 1名 (2.0%)

④八千代市 : 2名 (4.0%) ⑤千葉市 : 1名 (2.0%) ⑥東庄町 : 1名 (2.0%)

⑦旭市 : 1名 (2.0%) ⑧県外 : 3名 (6.0%) (東京都、埼玉県、山形県)

*佐倉市内 : 41名 (79.0%)、佐倉市以外 : 11名 (21.0%) となっており、市外からの聴講者が約2割を占めている。近隣からも参加されている様子が見える。

2 性別

①男性 : 31名 (59.6%) ②女性 : 16名 (30.8%) ③未回答 : 5名 (9.6%)

* 有効回答数での男女構成比は、男性がほぼ6割を占めている。

3 年代

①10代 : 4名 (7.7%) ②20代 : 0名 (0.0%) ③30代 : 0名 (0.0%)

④40代 : 2名 (3.8%) ⑤50代 : 4名 (7.7%) ⑥60代 : 10名 (19.2%)

⑦70代 : 21名 (40.4%) ⑧80代以上 : 11名 (21.2%)

*10代4名は佐倉高校の現役高校生である。在校生が注目してくれたことは大変嬉しいことである。講演中はメモを取りながら真剣に聞いていた。

*高齢者(70代・80代)の割合は6割を超えている。

*青年、壮年、中年、初老期(30代~60代)は昨年と同じ30%を保持している。一昨年までは10%程度であった。

4 今回の講演を何によって知りましたか?

①こうほう佐倉 : 23 (44.2%) ②口コミ : 6 (11.5%) ③鹿山会 : 11 (21.2%)

④知人から : 1 (1.9%) ⑤市役所 : 2 (3.8%) ⑥オランダ研修 : 3 (5.8%)

⑦日蘭会報 : 5 (9.6%) ⑧その他 : 1 (1.9%)

*一昨年まで11月の土曜日開催であったが、昨年度から8月の平日開催となり、二年目である。

*10月の会報発行前の開催となり、会報での告知がない中で「こうほう佐倉」からの情報取得が44.2%と大きな割合を占めている。一般市民聴講者が多いことから、市広報掲載は必須といえる。

*口コミ等の情報伝達力(口コミ、鹿山会、知人から、市役所で)は約4割で、こうほう佐倉と同程度の効果がある。

*現役高校生はオランダ研修において、興味を持ってくれた。

*日蘭会報を見て参加してくれた方が約10%見受けられた。

5 佐倉高校に江戸時代以来の資料があることをご存知でしたか？

①はい：45名（86.5%） ②いいえ：7名（13.5%）

*86.5%の聴講者が「鹿山文庫」の存在を知っていた。講演会が「鹿山文庫」の認知度アップにも結び付いていると言える。

6 地域交流施設に見学等で来館されたことがありますか？

①はい：39名（75.0%） ②いいえ：13名（25.0%）

*平日開催であったので、地域交流施設展示室は公開しておらず、残念がっている方も多かった。来年度は、鹿山文庫講演会開催日に特別に展示室を公開できないか検討課題と考える。

7 鹿山文庫講演会に参加したことがありますか？

①はじめて：22名（42.3%） ②2回目：9名（17.3%） ③3回目：8名（15.4%）

④4回目：6名（11.5%） ⑤5回以上：7名（13.5%）

*聴講が「はじめて」の方が4割に留まり、昨年の52.5%を下回っている。継続して聴講してくれている方が増えていることが分かり、鹿山文庫講演会の開催意義を感じる。

8 講演「佐倉藩の知られざる海上砲術家・田辺重則」の内容はいかがでしたか？

①わかりやすかった：41名（78.8%） ②適切だった：11名（21.2%）

③ややむずかしかった：0名（0.0%） ④むずかしかった：0名（0.0%）

⑤未回答：0名（0.0%）

*全ての方に分かりやすい講演内容であったと推測できる。

*選択肢に「その他ご意見（）」を設けたが、記載は無かった。

9 講演について、感想をお書きください。

*自由記述の内容を、回収された順に、原文のまま掲載します。32名の方が熱い思いをお書きくださいました。

①重則が報われなくて、人生が大変そうだと思います。今の時代では、このような事がおきてほしくないと。 (10代男性)

②深い学び、気付きをありがとうございます (40代男性)

③昔の人もとても頑張っていたんだと言う事を知りました。このような物事を調べる研究もあるのだ、ご本人がとても楽しそう (70代男性)

④藩制度、家長制度の複雑さの中での田辺の貢献が良く理解できた (70代男性)

⑤水上先生がいかにして本日の講演内容、田辺重則にたどり着いたかについて、先生の本業の研究からお話頂きよく分かりました。講演内容を記したカラー刷り資料が良かったです。質疑応答の「うつ病ではないか？」が面白かったです。 (70代男性)

⑥これまで全く知らなかった人物の話が聞けて、大変面白かったです。ありがとうございます。 (70代)

⑦大変わかりやすく興味を持ってました。 (80代女性)

⑧このような逸材がおられたのは佐倉の誇りです。 (80代男性)

⑨重則の身分がなかなか報われなかったこと・・・時代とは言えさぞ悔しいことでしたね。 (70代)

⑩とても分かりやすく興味深く聞かせていただきました。 (80代女性)

⑪詳しい内容で参考になりました。 (70代男性)

⑫大変興味深い講演でした。地道な研究を続けている水上先生を心から応援しています。オランダ語が明治のころから重要な役割を果たしていることを大認識しました。 (70代男性)

⑬当時の世の中の状況がよく分かりました。 (80代女性)

⑭佐倉藩士でもない人が幕府の中で活躍するのは大変な事、最後に自死したのは残念。 (80代男性)

- ⑮佐倉順天堂記念館のガイドを行ったことがあり、オランダとの関りある講演で大変勉強になった。(70代)
- ⑯歴史を極めることの面白さを深く知ることが出来ました。自身の学校がこんなことに関わっていたことを知れて良かったです。お話が興味をそそられてとても楽しかったです。ありがとうございました。(10代女性)
- ⑰佐倉藩にそのような人がいたことを初めて知りました。分かりやすい話でとても良かったです。(70代女性)
- ⑱初めてのことばかりで大変勉強になりました。(70代女性)
- ⑲大変興味を持って拝聴しました。詳しい資料やデータとともに藩士として幕臣そのものに活躍した生涯、武家社会の変革の時代の青年藩士の姿がまざまざと伝わってきました。(70代女性)
- ⑳貴重な資料が残っていることを誇りに思います (60代女性)。
- ㉑幕府の近代化、諸藩士(佐倉藩士も)がどのように関わったのか具体的で興味深かった。(60代男性)
- ㉒良かった (70代男性)
- ㉓全く知らなかったので興味深かった。(50代女性)
- ㉔田辺重則の活躍ぶりが立ち上がってくるご講演でした。悲劇的な最後は胸が痛いものがありますね。長屋住まい…。幕臣登用による身分の獲得が叶わなかったので自害するという態度が時代性を感じるとともに、当時の若き士族の思考を垣間見る思いがしました。しかし、もう少し待てなかったのか…。挟み込まれていた紙片に重則の無念を思いました。(50代男性)
- ㉕レジームの転換期に「業前」を持つ人材管理が既存の人事管理の発想とスピードで行われる歴史的事例が鮮やかに示された、とても優れた講演でした。この内容は現代的意義があります。(60代男性)
- ㉖オランダと日本が昔から深い関りがある事が分かった。田辺重則の人生について知ることによって自分の通っている佐倉と海外、幕府の過去の関係について考えが深まった。(10代女性)
- ㉗田辺さんの生い立ちや蘭学と日本の関りについて、とてもよく分かりました。資料からここまで深くその人の人生について知れるとは思いませんでした。歴史について学ぶことは面白いと再認識出来て嬉しかったです。オランダに行く際、参考出来る内容も沢山伺えてよかったです。ありがとうございました。(10代女性)
- ㉘田辺重則の存在を初めて知りました。面白いテーマをありがとうございました。(70代)
- ㉙重則の強い生き方に感動しました。自画像があったら見たい。自害は残念でならない。(50代男性)
- ㉚重則の仕事の内容やその重要性が具体的に分かると、幕府に登用されず、失意のうちに亡くなったと言う事がもっと分かりやすいのかなと思います。(60代女性)
- ㉛当時の社会構造も含めた視点で田辺の生涯についてお話しされていたのが大変わかりやすかったです。(50代)
- ㉜歴史用語の説明が分かりやすい講演でした。今後の御活躍をご祈念申し上げます。研究者としての誠実さを感じました。(70代男性)

10 今後、どのような講演を希望しますか？

- ①宮間純一「堀田正倫公」(70代男性)
- ②地理分野の講演を聞いてみたいです。(10代男性)
- ③千葉市の由来と変遷 (70代男性)
- ④佐倉藩の住民(藩士と藩士以外の人)が日常、どんな夢と言うか気持ちで暮らしていたのでしょうか。現代の自分達と比べてどのような違いがあったのでしょうか (70代男性)
- ⑤佐倉藩ゆかりの人物について (70代男性)
- ⑥佐倉の気象など (80代男性)
- ⑦佐倉市の歴史、遺跡がどんどん壊れていっています。何とかありませんかね (80代女性)
- ⑧佐倉藩の軍事箇所について。(70代女性)
- ⑨佐倉の洋学について(どのように佐倉藩の発展、教育に反映) (60代女性)

- ⑩佐倉藩の何度かの藩政改革（財政面を含んで）（60代男性）
- ⑪佐倉に関する史実（50代女性）
- ⑫佐倉藩、成徳書院、佐倉高校に関する内容を希望します。（60代男性）
- ⑬戊辰戦争時の佐倉藩の対応等（70代）
- ⑭以前佐倉高校図書館で見つかった「竹取物語」の最古の和本についての話が聞きたいと思っています。（60代女性）
- ⑮老中の職務について、特に堀田正睦についてお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。（70代男性）

長嶋茂雄先輩 巨人軍（2軍）追悼試合観戦記

長堀幸朗 昭61年3月卒 F組学級委員長 陸上競技部員

お盆最終日送り火8月16日の午後5時からジャイアンツスタジアムで長嶋茂雄（先輩）追悼試合（2軍）「巨人ー西武」戦が行われました。

*同日午後2時から東京ドームで行われた一軍の阪神戦と同様に、巨人軍の監督・コーチ・選手全員が栄光の背番号「3」のユニホームを着用されました。



お盆最終日送り火8月16日の午後5時からジャイアンツスタジアムで長嶋茂雄（先輩）追悼試合（2軍）が行われました。喪服スタイルで、一塁側エキサイトシートで参加しました。発見。球場の2階から3階に上がる側壁には長嶋茂雄（先輩）の勇姿がありました（写真）。

黙祷。試合開始。ジャイアンツ選手の背番号は全員3番です。2軍監督はあの有名なPL学園の桑田真澄さんです。同い年。試合途中途中でバックスクリーンに球界レジェンドの方々からの偲ぶ言葉。結びは「長嶋さん forever」。悲しみが深まるばかりでございます。試合は4対0で勝利。華麗なプレーばかりでした。さすがプロ。

佐倉市出身の重信選手が得点に絡む攻守の活躍。選手名タオル「重信慎之介」を掲げて応援しました。この方は中学3年生の時、高校は佐倉高等学校に進学したいと佐倉高校地域交流施設に鹿山会イベント参加にきていたことが、覚えています。

試合後全体で「勝つ！勝つ！勝つ！」の呼称。鹿山会一般会員として、追悼試合が盛大となるように頑張りました。同日東京ドームでは1軍による追悼試合が行われています。とても立派な祭壇が。記帳のための。満席。抽選2回ともダメでした。人気のカードなのでC席を第1希望にすべきでした。

情報。「読売新聞グループ本社と読売巨人軍は16日、「ミスタージャイアンツ 長嶋茂雄 お別れの会」を11月21日に東京ドームで開催すると発表しました。午前10時30分から「関係者の部」として式典などを行った後、ファンの皆様にお別れをしていただく「一般の部」を午後3時から開始し、午後7時まで受け付けます。」

次のプロジェクトに長堀幸朗、佐倉高卒として参加しました。

「長嶋さんへの感謝の気持ちを特別紙面で届けよう！「長嶋茂雄終身名誉監督追悼試合」が行われる8月16日（土）の読売新聞紙上で、長嶋さんへの感謝と哀悼の気持ちを伝える企画を実施します。限定3,333名の賛同者のお名前またはニックネームを試合当日の読売新聞紙上の特別紙面内に掲載します。また返礼品として、掲載紙面の増刷版と長嶋茂雄終身名誉監督追悼ロゴのデザインが入ったオリジナルグッズを後日お届けします。集まった支援金の一部は、野球振興活動へ寄付します。」

謹んで哀悼の意を表します。在りし日のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。